

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	沖映通りの防災パンフレット（マップ）づくり
2 事業期間	2024 年 5 月 ～ 2025 年 2 月
3 事業内容	具体的な内容（いつどこで何を実施したか等） ① パンフレットの作成、配布、設置 ② 津波避難ステッカーの作成・配布・設置 ③ 勉強会の実施 <u>①と②について</u> ■6月からマップ・ステッカー製作委員会で内容を精査。関係機関への協力依頼を行った。 ■マップ・ステッカー製作委員会は、対面による編集会議やヒアリング、グループ LINE を活用しての編集会議で、マップ、ステッカーの名前をそれぞれ「防災・観光マップ」「海拔表示ステッカー」に決定し作業を進めた。 ■マップ・ステッカー製作委員会での協議、専門家及び関係機関のアドバイスを参考に、10月末に掲載内容を決定。デザイナーに製作を依頼。 ■11月、校正を重ねつつ、防災・観光マップの表紙からリンクで動画が見られるように、動画製作を進めた。 ■12月、防災・観光マップと海拔表示ステッカーが完成。③の勉強会において配布がスタートした。動画も配布に合わせて完成。 ■12月～2月、沖映通りの店舗・事業所及び、関係機関に配布。 <u>③の勉強会について</u> ■勉強会の実施は沖映通り商店街振興組合を対象にした学習会を2回（11月14日、12月12日の沖映通り商店街振興組合理事会にて）実施。延べ17人が参加した。 ■一般向け公開講座「“津波警戒区域” 沖映通りで具体的に避難を考える防災のお話し会」を12月15日、ジュンク堂で実施し、43人が参加した。（別紙報告書あり）。

4 達成目標と達成度	達成目標（事業計画書と連携させる）	目標数値	実績値	達成度（%）
	・パンフレット設置箇所や配布枚数の数	10,000 部	10,000 部	100
	・ステッカー配置数	300 部	300 部	100
	・勉強会の参加人数	50 人	60 人	100
	結果に至る理由、気づき、検証等 <u>・パンフレット設置箇所や配布枚数、ステッカー配置数→100%</u> ■パンフレット（防災・観光マップ）は、学校等も含め、店舗・事業所の従業員に配布できるように十分な枚数を広く配布することができた。 ■観光客を含め、お客さんにも配布できるように、配布に協力できる沖映通り周辺の店舗に配布した。とくにホテルについては、観光客向けに配布するために多めに配布した。 ■海拔表示ステッカーは、各店舗・事業所が避難先を考え、それぞれに記入する様式になっているので、丁寧に説明しながら配布をした。掲示してくれるように依頼したが、実施への効力がないのが懸念事項である。 <u>・勉強会の参加人数について→100%</u> ■沖映通り商店街振興組合さんの協力で理事会での勉強会を実施できた。一般向け勉強会にも会員さんが参加してくださった。 ■一般向け勉強会は想定以上の参加者となった。小学校保護者、なはまちサロン、なは市民活動支援センター、那覇市役所などに配布し、広く広報した。 ■ラジオ「なはまちファンクラブ」（FMなは）に出演し広報をした。 ■当初予定していたよりもチラシ枚数を増やし、直接届けることができた。当日参加できない人にとっても、防災意識を喚起することにつながったのではないかな。			

5 事業の成果	事業を実施したことで得られた結果 ・対象者に及ぼした影響 ■観光客が手にすることで、沖映通りの魅力と、防災の視点を得ることができるようになった。 ■防災・観光マップに動画へ誘導する二次元バーコードを掲載することで、動画で沖映通りの防災の情報を見ることができ、沖映通りの魅力も知ることができるようになった。 ・連携機関、協力者に及ぼした影響 ■防災・観光マップをつくる過程で、沖映通りの魅力と、防災の視点を確認することができた。 ■沖映通り商店街振興組合の理事を対象にした勉強会の実施で、沖映通りの防災についての意識が向上した。沖映通り商店街振興組合の取り組みとして、防災・防犯を意識したイルミネーションの設置を計画し、那覇市頑張るマチグッサー支援事業に応募し採択されたことは、本事業効果の一つだと考える。 ■沖映通り商店街振興組合のホームページに防災ページが新設された。 ・地域、コミュニティに及ぼした影響 ■マップの配布で、沖映通りの魅力と防災の視点を得ることができた。 ■海拔表示ステッカーに避難場所を各店舗・事業所にて記載することを通して、店舗・事業所の防災意識向上につながった。 ■沖映通り商店街振興組合が防災について取組む
6 次年度以降の展開	(ビジョンを見据えたうえで次年度以降に予定している展開) ■観光・防災マップの完成後に、新しい店舗ができていることから、最新情報へのアップデートを行い、ホームページからダウンロードできるようにしたい。 ■観光・防災マップの多言語化。 ■沖映通り商店街振興組合のホームページ内の防災ページを充実させる。

7
実施した事業
全体への自己
評価とその理
由

①自己評価(5段階評価)

当てはまるところに○をつけてください。

	と と も 良 か っ た	良 か っ た	ま あ ま あ 良 か っ た	少 し 良 か っ た	全 く 良 く な か っ た
	5	4	3	2	1
1 課題設定は良かったか	☒				
2 解決策として良い手法だったか	☒				
3 自団体の実施体制は良かったか		☒			
4 他団体との協働体制は良かったか	☒				
5 対象者への周知は良かったか	☒				

②上記の結果となった理由について

- 1 課題設定については、協働大学院のときの課題設定を引き継ぎ、とてもよかったと思う。
- 2 解決策として、当団体が今できる範囲のとても良い手法だった。
- 3 団体内の実施体制としては、4人中2人が県外にいるなかで、一時的に帰沖してくれたり、LINEでの支援をもらいながらの取り組みとなった。後半少しメンバーが増えて、どうにか実施することができた。
- 4 沖映通り商店街振興組合には多大な協力をいただいた。そのほかにも、那覇小学校区まちづくり協議会、災害プラットフォームおきなわ、FMなは等、協働なしでは事業実施はできず、とても良かった。勉強会は、那覇小学校、那覇小学校区自主防災組織準備会にお世話になり、動画製作は那覇市の防災危機管理課にも協力をいただいた。
- 5 勉強会にも多数の参加があったことなど、12月からのマップとステッカーの配布は、丁寧に説明をしながら行い、周知できた。勉強会は商店街振興組合の理事会も対象にしており、協力者でもあり対象者でもあることから、周知についてはとても良かったと言える。

8 市への要望・ 欲しい支援等	なは市民活動支援事業に係る下記の項目に対して (①事業説明会 ②個別相談 ③募集期間 ④広報支援 ⑤オープンデータ等) 事業説明会や個別相談を丁寧にしてもらった。特に学習会については、企画の段階から親身になってアドバイスをいただき、広報についてもFMなはでの番組に登場させていただくなど、ありがたかった。 欲しい支援は、特に思いつかないが、イベントなどは市役所の職員向けの広報をしてもらえるとありがたい。
--------------------------------	---